

科目名	社会福祉原論Ⅱ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	倉 田 康 路						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	必 修
授業の概要 及びねらい	社会福祉の総論としての「社会福祉原論Ⅰ」を踏まえ、社会福祉の各論について学習する。 具体的には、まず、社会福祉の援助技術について学習し、ソーシャルワークの特徴を理解する。 次に、社会福祉の対象別に、児童、障害者、高齢者、貧困者などに分けたなかで、それぞれにかかわる法律、制度、システム、サービスなどについて学習する。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 社会福祉の援助技術について分類し、説明することができる。 2) 児童福祉の内容について説明することができる。 3) 障害者福祉の内容について説明することができる。 4) 高齢者福祉の内容について説明することができる。 5) 生活保護の内容について説明することができる。 6) 地域福祉の内容について説明することができる。						
学習方法	講義						
テキスト及 び参考書等	選定中						
評価基準・方法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎	○	○	○	○	80	
小テスト等							
宿題・授業外レポート							
授業態度	○	○	◎	○	○	10	
受講者の発表							
授業への参加度	○	○	◎	○	○	10	
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	社会福祉援助技術とは何か						
第 2 週	社会福祉援助技術の体系化						
第 3 週	社会福祉援助技術の展開						
第 4 週	社会福祉援助技術の方法						
第 5 週	児童福祉の視座						
第 6 週	児童福祉の内容と課題						
第 7 週	障害者福祉の視座						
第 8 週	障害者福祉の内容と課題						
第 9 週	高齢者福祉の視座						
第 10 週	高齢者福祉の内容と課題						
第 11 週	生活保護の視座						
第 12 週	生活保護の内容と課題						
第 13 週	地域福祉の内容と課題						
第 14 週	社会福祉と介護						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	※出席回数が開講回数の2/3に満たない場合は評価の対象としない。 毎回の授業の予習と復習を各自で行っておくこと。						